

編集後記

あの甚大な被害をもたらした東日本大震災・大津波とそれに伴って引き起こされた原発の事故から、はや1年が過ぎようとしている。関西にいる私たちは学生も含めてボランティア活動や義援金を託すというような援助くらいしかできていないが、被災地では今も苦難に満ちた状況は続いている。

自然災害については制御できないところがあるが、原発事故については私たちも真摯に受け止めてみる必要があるようだ。常に前だけを見て進むというスローガンだけを掲げる科学・技術でいいのかと反省する機会となり、また、阪神淡路大震災を契機に深まった災害時の看護学の重要性が再認識された。

被災者のために十分な手助けもできないことに心を痛めながらも、研究者たちが自らの研究テーマに取り組み続けた成果を、例年通り今年も無事上梓することができたことにはとりわけ感慨深いものがある。

(穴吹 記)

「兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要」編集委員

(明石地区図書部会)

穴 吹 章 子	神 崎 初 美	池 田 雅 則
長 田 浩	安 成 智 子	塩 見 美 抄
石 原 悦 子	藤 原 由 子	

兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要 第19巻
平成24年3月

発行者：兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所
住所 〒673-8588 明石市北王子町13-71
TEL (078) 925-0860

印刷所：神戸カムテクノ株式会社
